

## もの知リアグリ部会



### 菊地哲也議長

次に、もの知リアグリ部会 39番 宇都宮清陵高等学校2年 永井莉英子さん，40番 宇都宮女子高等学校2年 宇賀神茜さん。

### 39番 永井莉英子議員

議長，39番

### 40番 宇賀神茜議員

議長，40番

[ 39番 永井莉英子議員，40番 宇賀神茜議員 登壇 ]

### 39番 永井莉英子議員

39番，宇都宮清陵高等学校の永井莉英子です。「宮のもの知り達人検定」について提案します。宇都宮市では8月26日に宮のもの知り検定が行われます。この検定は，宇都宮に関する歴史や文化など様々な分野についての理解を深め，身近な観光案内人として宇都宮の魅力を伝える「おもてなし力」の向上を図ることで，宇都宮の産業や観光の振興につなげていくことを目的としていますが，この事業をよりよくするために，4つの提案をします。

まず1つ目は，英語検定や京都・観光文化検定のように1級，2級などといった階級制度を設けるということです。級を設けることによって，より多くの人が高い目標を持ってこの検定を受けられると思います。



2つ目は、満点合格者への対応です。通常80点以上の合格者には合格証書を郵送するのですが、満点合格者には、敬意を表して市長自ら合格証書を手渡しするのはいかがでしょうか。きっと受験者の励みになると思います。

3つ目は、受験者に参加記念品を贈呈することです。7月24日の下野新聞報道によると、申込みは好調で、はるばる岡山からの受験者もいるそうです。このように宇都宮に興味を持った方が来てくださるので郷土のPRの場としても役立つため、宇都宮名物である餃子の割引券などを記念品として贈呈するのはいかがでしょうか。

最後に、受験料についてです。高校生の受験料は、現在、大人と同じ1,500円ですが、中学生以下と同じ1,000円にしてはいかがでしょうか。高校生の率直な意見ですが、私たちのおこづかいを考えると500円は大きいです。これによって高校生の受験者も増えると思います。

これら4つの提案が実現されることによって、もの知り達人検定が市民に広く浸透して、郷土愛と人間力の向上に大きく役立つと思います。

以上で提案を終わります。よろしくお願ひします。

#### 40番 宇賀神茜議員

40番、宇都宮女子高等学校の宇賀神 茜です。「宇都宮市の農業」について質問いたします。

私たちのグループは、宇都宮の農業を調べていくうちに、アグリファンクラブという活動を知りました。その活動について提案があります。

まず第一に、この活動がもっと市民に知られる必要があると考えました。そして、このクラブが将来的に発展していくためには、市民に子どものうちから農業について関心を持ってもらうことが大切だと思いました。そこで、子どもに親しみを持ってもらえるために、現在平日に行われている農業体験を、休日に親子教室としても開催し、学校のクラブや総合学習で扱ってもらえるようにして欲しいです。

また、地産地消強化月間を設定すること、宮まつりや市民の日などの市で行われている様々なイベントに参加すること、地産地消を推進するために宇都宮市名産の餃子・苺などを利用した料理コンテストを実施することを提案します。

また、コンテストの優勝料理を強化月間で販売するのもPRとして有効だと思います。そして、認知度が増したら、宇都宮で作った野菜などをネット上で販売したりして、宇都宮の農畜産物が市民の食生活に自然に溶け込んでいければいいと思います。

そして、ブランドイメージを定着させるために、認定マークを作り、“安全性”を消費者に実感してもらいたいです。生産者・生産場所が分かることで、消費者は安心して食材を購入することができます。現在、全国的に問題となっている“食の安全”について市民一人一人が考える良い機会にもなると思います。



そして、質問としましては、今後、アグリファンクラブに加入した特典を、どのように魅力的なものにしていくのか、将来的にどこまでネットワークを広げていくつもりなのか、ご質問させていただきます。

以上で終わります。よろしく申し上げます。

## **刑部郁夫経済部商工担当次長**

議長， 経済部商工担当次長

## **菊地哲也議長**

経済部商工担当次長

〔刑部郁夫経済部商工担当次長 登壇〕

## **刑部郁夫経済部商工担当次長**

本市は、宇都宮を訪れるお客様に、「また訪れたい」と思ってもらえるよう「おもてなし日本一のまち」を目指しております。「宮のもの知り達人検定」を通して、わがまち宇都宮を思う永井議員からのご提案に、大変うれしく感じました。それでは、4つのご提案に、順次お答えいたします。

まず、「階級制度を設ける」についてであります。検定合格者はすべて、本市に関する知識を十分に有した、大変誇れる方々であると考えているところですが、議員ご指摘のとおり、多くの方々が、より高い目標を持って検定に臨める環境をつくるためには、「級」を設けることもひとつの手段であると思われま。すが、いたが、いまして、今後の検定結果や受験者の反応などをよく分析した上で、将来的には、階級制度の導入についても検討してまいりたいと思。います。

次に、「満点合格者への対応」についてであります。満点合格者に対し、市長から合格証書を手渡したり、意見交換を行うことは、受験者の意欲を高めるとともに、満点合格者の榮譽を称える上で大切であると考えられますことから、さっそく、記念すべき第1回検定から実施いたします。

次に、「受験者への参加記念品の贈呈」についてであります。現在、受験者の参加記念品として、うつのみやシティガイド協会が作製した手作り「黄鮒バッジ」の配布の準備を進めているところでありますが、ご提案の「餃子の割引券」など、宇都宮ならではの記念品の贈呈につきましては、更なる郷土のPRにもつながりますことから、今後、検討してまいります。

最後に、「受験料の軽減について」であります。今回の受験料は、検定試験の実施に必要な経費をもとに定めたところではありますが、次回以降の受験料につきましては、開催場所の見直しを行うことなどにより、特に、高校生以下については無料化を含め、軽減する方向で調整してまいりたいと考えております。

## **手塚英和経済部次長**

議長， 経済部次長

## **菊地哲也議長**

経済部次長

### 手塚英和経済部次長



人間の生命の源である、食を生み出す農業に対する高い意識を持った宇賀神議員のご提案とご質問に大変関心いたしました。それでは宇賀神議員の「アグリファンクラブについて」のご質問にお答えします。

今の日本の食糧自給率は40%です。他の国を見てみますと、アメリカは128%、フランス122%、そしてオーストラリアに至っては237%という自給率で、どの先進国も自国の国民の胃袋はきちんと保証ができています。しかし、日本は6割を輸入に頼っているのが現状で、自給率を高めていく必要があります。

また、農業に取り組んでいる人のうち、65歳以上の割合は、平成17年度は、国全体では、58.2%で、宇都宮市においても51.8%であり、若い人が農業に魅力が感じられるようにする必要もあります。

こうしたことから、自給率を高め、若い人が農業に取り組み、宇都宮の農業が盛んになるよう、多くの皆さんに宇都宮の農業のよさを知っていただこうと、昨年11月に「アグリファンクラブ」を設立しました。これまで、クラブでは、宇都宮の旬の野菜・果物の紹介やおいしい調理方法、農業に関するイベントなどを満載した情報誌の発行や農業体験などを実施してきましたが、クラブ活動をもっと市民に知ってもらおうとともに、子どものうちから農業に関心を持ってもらうためには、議員ご提案のとおり、農業体験の休日開催、地産地消強化月間の設定、様々なイベントへの参加、料理コンテストの実施などの取り組みは、大変有効であると考えられますことから、可能なものから実施してまいります。

また、宇都宮産の野菜などのネット販売や宇都宮ブランド定着に向けた認定マーク作りについては、クラブ活動の広がりやブランド農作物の発掘の状況を見ながら、農家やクラブ会員と意見交換をしてまいります。

さて、議員ご質問の「アグリファンクラブに加入した特典を、どのように魅力的なものにしていくのか」についてですが、クラブ会員の声を聞いてみますと、美味しい農産物の購入場所や調理方法などの情報と農産物がプレゼントとして手に入ることなどに魅力を感じていることから、先ほど議員から提案のあった事業に加え、景品付き農産物直売所スタンプラリーの実施や宇都宮産野菜のお買い得情報のメールマガジン配信などの事業を充実させ、クラブの魅力アップを図っていきたいと考えています。

次に、「将来的にどこまでネットワークを広げていくつもりなのか」についてですが、まずは、会員の皆さんと一緒にクラブ活動を展開し、将来的には、宇都宮の取り組み内容や農業の素晴らしさを発信するなど、全国から注目される魅力あるクラブに成長させたいと考えております。

### 菊地哲也議長

以上で、もの知りアグリ部会の質問を終わります。

質問者が半数を終了しましたので、暫時休憩いたします。再開は11時10分といたします。なお、再開後の議事運営は副議長と交代いたします。